

香川ニュース

第52号

編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

香川の
人口 7,961人
世帯数 2,193
会員数 2,070
発行部数 2,200部

みんなの力で
香川を
つくろう

東海大地震の地域指定で 急がれる地域防災対策

香川自治会も近く方針決める 必要なのは、家庭の自主防衛

九月は防災の月。政府は近い将来起る可能性の強い「東海大地震」に備える地震防災対策強化地域として、神奈川、静岡など六県、百七十市町村を指定しました。

茅ヶ崎市も、この対策地域に指定され、全市をあげて自主防災組織作りをすすめています。香川自治会も、近く防災体制作りをする方針です。

ところで巨大地震といえ、思い出すのは、いまから五十六年前、大正十二年（一九二三年）九月一日の午前十一時五十八分に東海地方を直撃したマグニチュード七・九の関東大震災です。この大震災による罹災者は三〇万人、うち死者は九万一千三百四十四人、行方不明一万三千二百七十五人、負傷者五万二〇七十四人。家屋の全焼四万七千戸、全半壊二十四万戸にのぼったといわれます。

物的損害も五十億円、当時の国家予算が十五億円で、実におすと百二十兆円になります。この大災害によって、国民生活に日本経済の中枢神経は潰滅的な打撃を受け、わが国は昭和初めに大不況に転落していったのです。

当時の茅ヶ崎町でも、家屋の九七％が全半壊し、罹災者は二万一千人、死者は百四十二人を数えたそうです。今日、この規模の大地震に直撃されれば、家屋、建物の高層化、爆弾と同じようなプロパン

ガスの普及や灯油の備蓄、自動車の普及、人口と家屋の密集などからみて、災害のスケールも大きく、悲惨なものになると心配されています。

現在、香川地区でも、自治会を中心に防災対策を検討中であり、皆様にも決定したいご連絡したいと思っております。何よりも大事なのは、家族の生命、財産の安全を守る各家庭の自主防衛の必要性と、その心構えです。そこで、茅ヶ崎消防署や防災関係者のアドバイスをもとに、地震、災害への備えと、心構えをご紹介します。心配される▽飲料水Ⅱ地震で心配されるのは断水。井戸のある家庭は、いざというとき使えるよう整備し、水質検査も受けておいて下

防災上より 自治会を見直しては!!

顧問 熊 沢 晶

富士山がきれいに見える海や山が近く、東京や横浜へも便利で、四季を通じて気候が好だやかの、海や山の幸に恵まれた空気のよい「香川」が、私たちの住んでいる「香川」でした。人間だけに限らず、生れたとき、すべてが無垢ですが、時間たつにつれて、汚れを身につけてゆきます。

汚れをそのまま放っておけば、ついに腐ってしまいます。この汚れを浄め、また汚れたら浄めてゆく中で、その繰返しが健全な成長を約束するのだと思えます。

発の危険があります。伊豆沖地震のときもプロパンに引火した事故が目立ちました。避難のさいはボンベのコックを閉めることを忘れずに。▽食糧Ⅱ米、非常食、缶詰類の備蓄が必要。米ビツ一杯分は貯えておく目安です。▽避難場所Ⅱ一次避難所は香川小学校。二次の広域避難所はスリーハンドレッドクラブです。避難のさい、ブロック塀や石垣には近づかないで下さい。地震などのテレフォンサービスは(85)〇一一九。

偏食によって病気になるように、汚れは、何か片寄るところに生れます。大自然は、生きとし生けるものすべてに、区別せず、限りなく浄めのために、太陽の光と空気と水を与えて（恵んで）くれます。この恵みをどのように受けとめるかは、私たち人間の知恵です。自治会は、なんらかの縁で、同じ「香川」に住む、善意の人たちの自治組織です。地域（香川）の住民が、お互いに個々の経験を生かして、知恵や労力を奉仕し合い、地域の安全を守るものです。最近、防災が一段と強く叫ばれています。去る八月七日、政府は「地震防災対策強化地域」に東海大地震にそなえて、百七十市町村を指定し、防災強化計画をたてることを発表しました。「茅ヶ崎」もその中に入っております。

私たちの毎日の暮らしの中で地震に限らず広い意味での防災（災害を防ぐ）は、生活してゆく上での基本です。個人の生命安全は、先づ自分で守るように、地域（香川）の安全は、先づ地域で守ることです。行政（市役所や消防署のしごと）にすべてを任せているだけでは、いざという時、成果をあげる事ができません。今こそ、防災上から、私たちの自治組織である自治会を、もう一度見直して、自治会を私たちの安全を守る身近な組織として、どのような個人々々が、関わるかを考えてはどうでしょうか。

第十一回

香川地区体育大会

九月三十日開催

香川地区恒例の体育大会は、校舎増築中の香川小学校グラウンドで九月三十日（日）（雨天のときは十月七日（日））に行なわれます。

大会には、香川第一、第四町内会、甘沼、松風台が参加します。主催者、体育振興会の吉川活郎代表は、「会場は香川小学校じゃない。工事中で狭まっちゃいけない。大会を一杯に使って、盛大な体育大会にしたい」とまた、

「一人でも多く参加していただき、親睦をはかるとともに、体力の限界に挑戦するようハッスルして欲しい」と、語る。

競技種目は、長いゲタ式の百足競争などを新しく加え、子供、婦人、老人まで誰でも参加できるものが多く用意されています。ふるって参加して下さい。なお、昨年は松風台が優勝しています。

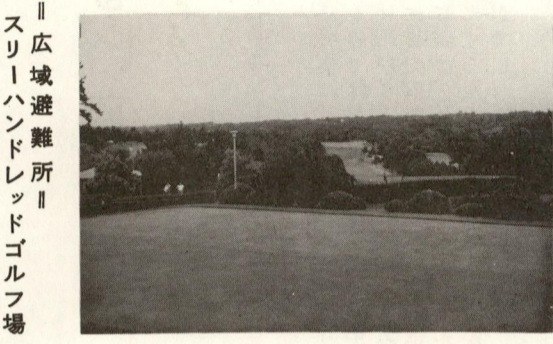


自治会日誌

30日	文化厚生委員会 図書貸出
24日	御神輿の件で玄圃寺と話し合い。第四町内役員会
21日	相模線連絡協議会（寒川神社） 浜降祭打合せ
17日	相模線連絡協議会（寒川） 浜降祭実行委員会（寒川）
16日	第一第二町内道路舗装及び下排水整備の件陳情 図書貸出。映画会
15日	県献血ボランティア協議会
10日	顧問と話し合い
10日	防災訓練
6日	第一第二町内道路舗装及び下排水整備の件陳情
1日	防火訓練
7日	文化厚生委員会 第四町内組長会
8日	青少年育成協議会
12日	青少年育成協議会 総務委員会
14日	青少年育成協議会
15日	青少年育成協議会
17日	青少年育成協議会
19日	青少年育成協議会
20日	青少年育成協議会
21日	青少年育成協議会
22日	青少年育成協議会
27日	相模線連絡協議会（相模台）
29日	地区会計打合せ会
1日	盆おどりやぐら組立
5日	盆おどりやぐら組立
7日	自治会館運営委員会
9日	自治会館運営委員会
10日	盆おどり練習
11日	盆おどり練習
14日	盆おどり練習
15日	盆おどり練習
18日	盆おどり練習
19日	盆おどり練習
25日	盆おどり練習

自治会日誌

1日	防火訓練
5日	盆おどりやぐら組立
7日	自治会館運営委員会
9日	自治会館運営委員会
10日	盆おどり練習
11日	盆おどり練習
14日	盆おどり練習
15日	盆おどり練習
18日	盆おどり練習
19日	盆おどり練習
25日	盆おどり練習



Ⅱ 広域避難所Ⅱ
スリーハンドレッドゴルフ場

サークル活動紹介(4)

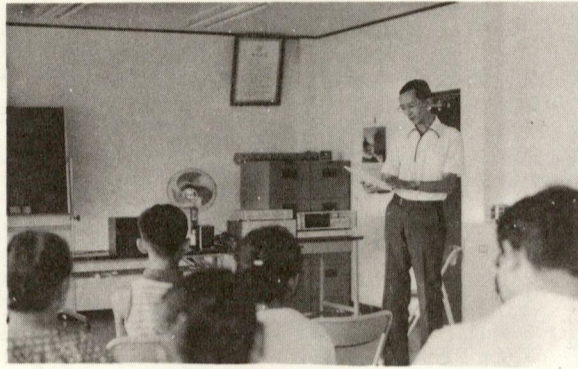
健康で明るい音楽を

ポピュラーからクラシックまで

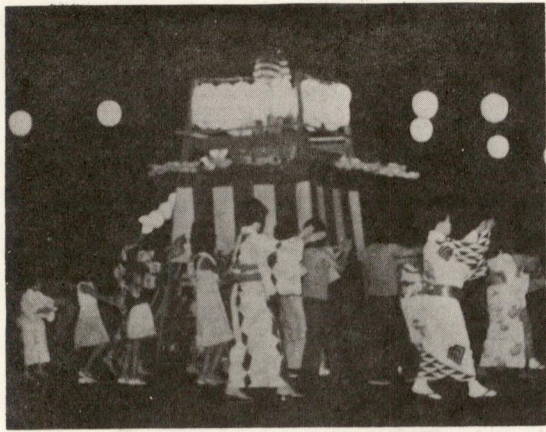
湘南レコードライブラリー

「地域の中に健康で明かるい音楽運動を起そう」という目的のもとに本年三月より始めましたレコードコンサートも第六回を迎えることになりました。参加者はまだ少数ですが、年齢層も広く、年配の方から小学生までほんとうに音楽の好きな人の集まりです。内容も、ポピュラーからクラシックまで多種多様を紹介いたします。

- 三月 映画音楽
五月 ウィンナーワルツ
六月 素晴らしいフレレンチ・サウンドの世界
七月 白鳥の湖ハイライト
八月 ハワイアン・デラック
九月より「ベートーヴェン特集」を予定しております。
九月 交響曲第五番(運命)
十月 交響曲第六番(田園)
十一月 ヴァイオリン協奏曲
十二月 交響曲第九番(合唱)



音楽は、教養などという飾りものではなく、私達の生活の中に飛びこんで、家庭のすみずみにまで広がるべきもの、いわば音楽は、私達の生活をより豊かにするもの、と考えますがいかがでしょうか。



盛況に盆おどり大会

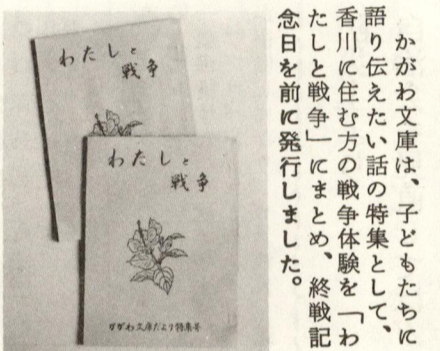
自治会主催による盆おどり大会が、ことしも盛況に行なわれました。8月14~16日の本番には、毎晩約800人も女の子や主婦が、涼しそうな浴衣姿で、暑い夜を忘れて踊りをくりひろげました。

若さを保つために

九月十五日は、敬老の日です。香川には、六十五才以上のおとしよりが約三百七十人おられます。ますます元気で長生きしてほしい、仕事や趣味に精を出していただきたいと思っております。

そこで、年をとってもいつまでも若さを保つ心がけをいくつか紹介しましょう。
一、かかりつけのドクターをきめておく。医師は、健康の相談相手となり、気軽に自分の身体のことを相談できる一人の定ったドクターを近くで定める。
二、いつも若々しくふるまうようにすると、気持も自然に若返り、身体の方も元気になる。
三、適度に身体を動かす、頭も使う。散歩や軽い体操をし、毎日読書するとか新聞や雑誌に目を通すと世の中の動きに関心をもち、
四、寒さから身体を守るように心がける。特に冬。

「わたしと戦争」
かがわ文庫だより特集号
かがわ文庫は、子どもたちに語り伝えたい話の特集として、香川に住む方の戦争体験を「わたしと戦争」にまとめ、終戦記念日を前に発行しました。



当時、記者・教師・海軍技師・学生であった方々19人の体験が寄せられています。この文集は、かがわ文庫にあります。

消化器の使い方指導

いざという時使えますか

八月十九日、自治会館にて消防器の使い方の訓練が行なわれた。主婦ら六十人がそれぞれに消防器を持寄って、消防署の指導のもとに正しい使い方を身につけた。

燃えるガソリンに、消防器のノズルを向け、掃くように消火剤を出しながら、次々に火を消していった。
こわさのため、火に近づけない人。安全ピンがはずれずにもたもたする人。火に近づきすぎた。火をふきとばす人等さまざまであった。ほとんどの人が消防器を使うのは初めてであった。これで、しつかり使える自信がわいたようだ。

えつけてある。火災時に使用された割合は50%以下だった。なぜ使用されなかったかというところ、置いてあることを忘れていた、使い方がわからない等である。とくに、安全ピンのはずし方がわからないため使用できなかったが一番多い。この安全ピンのはずし方は、メーカーによっても、また同一メーカーによってもいろいろある。ホースをはずしてまっすぐに伸ばすとはずれるもの、ピンを上にあくもの、横にあくもの、レバーをたおすもの、スライドさせるもの等さまざまである。いざという時、はずすことができず、消防器を火の中に投げ捨ててしまう例が多いそうです。お宅の消防器の安全ピンの構造を調べて見て、使えるようにしておいて下さい。

惜しくも

全国大会出場ならず

香川ママさんバレー

第十回家庭婦人バレーボール神奈川県大会は七月一日、横浜で行なわれた。香川チームは藤沢地区四代表の一チームとして出場、相模原・川崎・平塚・横浜をいづれも二対〇で破り、笹下チームと決勝戦を行い、惜しくも敗れたが準優勝を挙げた。

香川チームは結成十年目で高木キャプテンを中心に、中村重雄体育指導員のコーチのもとに、鉄壁の守りとエースアタッカーに成長。今回全国大会出場という絶好のチャンスをのぎした。
なお、毎月最終日曜日、香川小学校体育館で、バレーボール教室を開いている。



あゝ消えたわ!!
これで安心

サークル紹介
前号に続き次のサークルを紹介いたします。
香雲会 謡曲・仕舞教室で、指導は宝生流能楽師。初心者の方どうぞ。月三回(土曜の午後)(中村俊章 〇六〇〇六夜間)

編集後記

アンケート調査を実施してありますが、もう提出していただきましてありがとうございます。次号以下で、ゴミ問題について紙上で討論したいと思っております。なんと云っても、ゴミは身近な問題で毎日のことです。家庭婦人のご苦労など地域の問題として取り扱いたいと思っております。広報委員宅まで意見を寄せ下さい。

訃報

ここに謹んで哀悼の意を表します。

Table listing names and dates of obituaries: 亀井 ナシ 第一町内会 6月30日, 熊沢 義高 第一町内会 7月3日, 安部 銀蔵 第三町内会 7月6日, 鳥生喜志代 第四町内会 7月22日, 熊沢京太郎 第二町内会 7月31日, 高宮 第三町内会 8月10日, 高宮 第二町内会 8月22日, 高宮 第一町内会 8月22日